

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【公開番号】特開 2020-170469 (P2020-170469A)

【公開日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【年通号数】公開・登録公報 2020-042

【出願番号】特願 2019-73034 (P2019-73034)

【国際特許分類】

G 0 5 D 16/20 (2006.01)

B 0 1 F 11/00 (2006.01)

B 0 1 F 15/02 (2006.01)

B 0 1 F 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 5 D 16/20 Z

B 0 1 F 11/00 A

B 0 1 F 15/02 A

B 0 1 F 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 15 日 (2021.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本発明によれば、ランニングコストを低くすると共に、往復動攪拌装置においても、容器内の圧力や、前記往復動攪拌装置を制御しやすくなる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

また、圧力制御用管に、流量制御用装置を迂回したバイパス管を設けたので、容器本体 3 内の圧力調整が難しい往復動攪拌装置であっても、制御しやすくなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

【図 1】本発明のシングルユースバッグ用圧力制御装置の全体構成の説明図である。

【図 2】本発明のシングルユースバッグ用圧力制御装置の概略説明図である。

【図 3】シングルユースバッグの説明図である。

【図 4】シングルユースバッグの説明図である。

【図 5】従来の圧力センサーを設けたシングルユースバッグの説明図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 6 】

そして、例えば、上下往復動攪拌装置 4 により、容器本体 3 内の内容物を攪拌しながら、前記ガス供給装置により、前記容器本体 3 内に所望量のガスを供給し、そして、前記圧力センサー装置 1 5 により、前記管 1 3 a 内の圧力を検知し、該圧力情報に応じて、前記流量制御用弁 1 4 の開閉（流量）を制御し、前記容器本体 3 内の所望量のガスが、前記排気管 6 の排気口、前記上流側圧力制御用管 1 3 a、前記流量制御用弁 1 4、前記下流側圧力制御用管 1 3 b を通じて流れ、また、少量のガスが、前記バイパス管 1 6 を通じて、前記下流側圧力制御用管 1 3 b を通じて流れ、そして、該管 1 3 b の排出口から、外部に排出される、或いは、該排出口に接続された排気処理装置等内に排出されて、前記容器本体 3 内の圧力が所望の圧力になるように制御するようにする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 1 】

また、前記圧力制御用管 1 3 に、前記流量制御用弁 1 4 を迂回したバイパス管 1 6 を設けたため、前記容器本体 3 内の圧力調整が難しい往復動攪拌装置であっても、制御しやすくなる。